

演 出「春が来た」

附屬幼稚園

S

K

準備 たんぼほ すみれ れんげ草 水仙 チューリップ

ヒヤシンス なぎの花ミ、蝶を作り、これを各々の子供の頭につけさせる。紙に繪の具又はクレオンで描いてうすいボール紙にはり、ゴム紐で頭につけられる様にして
もよいし、クレープペーパーで適當に作つて頭にかむらせる様にしてもよい。

各々の子供に花をきめてつけさせ、蝶になる子供も數人定めておく、同じ花がいくつあつてもよい、子供の數により適當に定める。

曲は何の曲に合はせてもよいが、こゝでは小學唱歌の「春が来た」の歌に合はせてするこゝにした、歌はうたはなくてもよい。

ハルガキタ ハルガキタ ドコニキタ

一列圓形にて全生座し、上體を前にかゞめ頭を下げ、眠つてゐる様子をする。兩手は掌を合せつぼみを作つておく。未だ花の芽はかたくむすばれ眠つてゐるこゝろである。

ヤマニキタ サトニキタ ノニモキタ

春風が吹いて暖かくなつて来るミ、花の芽もだん／＼ミ上にのび、つぼみもふくらみやがては花を開くこゝいふこゝろである。

前に座してかゞんでゐた上體を少しづつ起し、だん／＼に立ち上る、ミ一しよにつぼみを作つてゐた手も次第に上にのびしつぼみをふくらます。最後に背のびをして出来るだけ大きくなるミ同時に兩手も出来るだけ上にあげて花を開く。

ハナガサク ハナガサク ドコニサク

ヤマニサク サトニサク ノニモサク

花が開くミ方々に、同じ様に美しい花が咲いてゐるのでお友達をさがしに行く。

圓形は全くくづし、各々自由な方向にスキップで行く、この曲の間(三十二呼間)に相手をさがし、二人又は三人ミ一しよになつたら其處に止り、一しよに兩手で美しい花を作る。方々に二人三人位づゝの花が出来る。座つて

花を作つても立つて作つてもよい。
蝶になつた子供は、はじめからこゝまでの間ずつ眠つた様子をして座つてゐる。

トリガナク トリガナク ドコデナク
ヤマデナク サトデナク ノデモナク

こゝではじめて蝶は眼をさまし、両手をひろげ羽を上下にうごかしつゝ舞ひながら方々の花にさまつて歩く、花はこの間中春風に吹かれてゆらくゝ氣持よく動いてゐる。

ハルガキタ ハルガキタ ドコニキタ

蝶も花も一しよに愉快に遊ぶこゝろで、一しよに花を作つてゐた二人又は三人、蝶も二人又は三人に組み、前後に並び、両手を前生の両肩に軽くのせ、後生は前生の顔をのぞき込み、前生はふりむき後生の顔をみる様にし



ハルガ
ハルガ
タドコ



キタ
キタ
ニキ

て、右左右左顔を動かしお互に話し合ふ様子をしながら自由な方向に歩いてゆく。

ヤマニキタ サトニキタ ノニモキタ

前と同じ動作で、前後の位置をかへ、即ちまはれ右して、今迄の後生が前生となり自由な方向に歩く。

ハナガサク ハナガサク ドコニサク

二人又は三人自由な位置に止り向ひ合ひ

拍手 右手同志拍手 拍手 左手同志拍手

ハ ナガ サ ク

ハ ナガ サ ク

ドコニサク 二人両手をこり合ひまはる。

ヤマニサク サトニサク ノニモサク

拍手 右手同志拍手 拍手 左手同志拍手

ヤ マニ サ ク

サ トニ サ ク

ノニモサク二人両手をこりまはる。

トリガナク トリガナク ドコデナク

各所に花のトンネルを作る。これは豫め数人づゝのグループミ、トンネルを作る位置ミを定めておくこよい。トンネルの作り方

二人向ひ合ひ両手をこり上にトンネルの様上げる。次

伐するこゝが出来るかき、いろ／＼お考へになりました。
或晩のこゝ、黒坂命がおやすみになつてゐるこゝ、夢に神
様があらはれておいでになりました。そして

「山にあるいばらを集めて土蜘蛛を攻めなさい」

と仰つしやいました。そこで大將は家來に言ひつけて、い
ばらを薙り集めさせました。家來達は、いばらなんか集め
て何になるのだらうと不思議に思ひながら、山に入つてい
ばらを薙り集めました。いばらはさても痛くて家來達はす
つかり困りました。そして誰いふさなく、黒坂命は「いばら
大將だといふやうになりました。」

いばら大將の黒坂命は毎日常來達の指圖をして、いばら
を薙り集めました。さうさう山のやうに一杯集りました。
そこで用意はよしと、土蜘蛛もが麓の村へ出かけてゐる
留守を見て、岩屋の中へぎつしりさいばらを詰め込みまし
た。

それから不意に麓の村へ行つて、土蜘蛛を追つかけまし
た。今度はいばら大將は馬に乗つてワッミ追つかけまし
た。土蜘蛛は、いつものやうにぎんぎん岩屋の方へ逃げて
行きました。先頭せんとうの者が大いそぎで岩屋に跳び込みます
と、チクリチクリと眼や鼻を突きさされました。痛い痛い
と外へ出ようと思つた、後からは味方の者がぎんぎん押
しよせて來ます。そこでみんなは眼を突くやら鼻をつくや

ら手や足は血が流れるやらで大弱り。その上いばら大將は
さつさつきの聲をつくつて攻めたててきましたので、土蜘蛛
の方はみんないばらにひつかゝつて負けてしまひまし
た。

そこでこの國を「いばらき」といふのださうです。

(をばり)

(三三六頁より)

にトンネルをくゞつた二人はそのトンネルのすぐさなり
にトンネルを作る、次に二つのトンネルをくゞつて來た
二人は又さなりにトンネルを作る、こうして一列になつ
てトンネルに入つて行つたものが二人づゝ次々トシネ
ルを作つて行く。一つのトンネルのグループは八人が十
人にしておくま曲に合つてよい。

ヤマデナク サトデナク ノデモナク

全生一列圓形になりながら歩いておしまひにする。